

■科目の基本情報

・科目番号	02JG302・303
・授業科目名	行動科学実験実習A・B
・授業形態	7(講義と演習と実習・実験)
・標準履修年次	1・2・3年次
・開設学期	02JG302: 春学期, 02JG303: 秋学期
・曜時限等	随時
・教室	各研究室
・単位数	各3

■担当教員等

・担当教員名	感性認知脳科学専攻後期全研究指導教員
・ティーチングフェロー(TF)	N/A
・ティーチングアシスタント(TA)	N/A
・オフィスアワー等(連絡先含む)	各教員に確認

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性や心と脳機能とを関連づけようとする基礎研究にとって、行動科学分野の最先端の知識・実験手法を習得することは必要不可欠であり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

行動科学分野における最先端の知識や実験・解析手法を習得し、自身で実験を計画・実施するとともに、その結果を論文としてまとめることができる。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

研究指導教員のもとで博士論文研究をおこない、その中で行動科学分野の研究に必要な最先端の知識や実験・解析手法を習得する。

・キーワード

比較認知科学、行動神経科学、精神機能障害学

・授業計画 (Time Table)

博士論文研究をおこなう中で、随時必要な知識、実験・解析手法を学ぶ。

・履修条件 (Prerequisite)

行動科学分野の基礎知識を有すること。

■成績評価方法

・評価方法

研究を計画し、適切にデータを取得・解析・考察できるのか、また、それらを論理的に説明・発表できるのかを評価する。

・割合

研究を計画し、適切にデータを取得・解析・考察できるのか、また、それらを論理的に説明・発表できるのか総合的に評価する。

・評価基準

自身が計画した研究を実施して適切にデータを取得・解析・考察できること。また、それらを論理的に説明・発表できること。

■受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

各指導教員から配布される教科書や論文。

・授業外における学習方法

自身の研究に関係した教科書や論文を読み、必要な知識や実験・解析手法を習得する。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

意欲を持って研究に取り組むこと。

・欠席の場合の措置について

担当教員と相談。

・備考